

航空法第111条の4に基づく報告一覧(平成31年4月～令和元年9月)

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
4/1	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA242J	大阪国際空港	函館空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/1	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA21MC	東京国際空港	北九州空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/1	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA743A	東京国際空港	福岡空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/1	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA133A	東京国際空港	熊本空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
4/1	天草エアライン	ATR式42-500型	JA01AM	福岡空港	天草飛行場	離陸前の操舵面の作動点検においてエルロンが作動せず、不具合があったことを示す計器表示があった。	
4/1	日本航空	ボーイング式737-800型	JA344J	東京国際空港	岡山空港	上昇中、急な管制指示により、指示高度を超過した。	
4/2	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA220J	花巻空港	新千歳空港	飛行中、エルロントリムの作動が通常と異なることが判明した。	
4/2	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA63AN	新千歳空港	広島空港	降下中、風速の上昇により、運用限界速度を超過した。	
4/3	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA220J	仙台空港	大阪国際空港	飛行中、エルロントリムの操作を行ったところ通常と異なる感覚であった。	
4/3	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN			整備検査認定の地上試験において客室内の一部の非常用照明灯が点灯しなかった。	
4/3	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA22MC	北九州空港	東京国際空港	到着後、保安検査場での確認が不足したことから、危険物が誤輸送されることが判明した。	
4/3	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA03GR	成田国際空港	広島空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
4/4	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA03FJ	新千歳空港	松本空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/4	中日本航空	ユーロコプター式EC135P2型	JA115D			操縦士の理解不足により、飛行勤務前のアルコール検査を行わずに飛行勤務を開始した。	
4/5	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA98AD	東京国際空港	新千歳空港	地上にてエンジンを始動したところ、燃料計に不具合があったことを示す計器表示があった。	
4/5	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA14RJ			整備委託先において、補助動力装置の一部のパッキングに製造者が認めていない部品が取付けられていたことが判明した。	
4/5	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA13RJ			整備委託先において、補助動力装置の一部のパッキングに製造者が認めていない部品が取付けられていたことが判明した。	
4/5	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA09RJ			整備委託先において、補助動力装置の一部のパッキングに製造者が認めていない部品が取付けられていたことが判明した。	
4/5	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA250J	大阪国際空港	新潟空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/5	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA807P	那覇空港	ソウル(仁川)	飛行中、気象レーダーの表示に不具合があった。	
4/5	全日本空輸	エアバス式A321-211型	JA112A	東京国際空港	熊本空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
4/6	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA601A	新千歳空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/6	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA85AN	大阪国際空港	新千歳空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
4/6	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA856A	中部国際空港	仙台空港	飛行中、右側の主脚が通常と異なる位置にあることを示すライトが点灯した。	
4/6	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA03GR	武漢	成田国際空港	飛行中、自動操縦が解除されるとともに、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
4/6	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA02JC	鹿児島空港	鹿児島空港	訓練中、管制通報を失念したことから、着陸許可を受けずに着陸した。	
4/6	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA81RC	南大東空港	那覇空港	整備委託先の作業において、航法計器の冷却用ホースの取付けに不備があったことが判明した。	
4/6	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA06AN	中部国際空港	福岡空港	上昇中、機体姿勢の変化により、燃料油量の左右差が運用限界を超過した。	
4/7	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA843A	女満別空港	新千歳空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
4/7	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	福岡空港	大阪国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/7	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA248J	大阪国際空港	鹿児島空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/7	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA04JC			運航整備中、救急箱の点検間隔が期限を超過していたことが判明した。	
4/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA342J	函館空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/7	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA85RC			社内調査の結果、救急箱の有効期限が超過していたことが判明した。	
4/8	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA18JJ	成田国際空港	那覇空港	飛行中、気象レーダーが不動作となった。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
4/8	パナ・エア	エアバス式A320-214型	JA01VA	関西国際空港	奄美空港	着陸前の確認不足により、不適切なフラップ位置で進入したため、着陸形態にないことを示す警報が作動した。	
4/8	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA735J	東京国際空港	ニューヨーク	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/8	パナ・エア	エアバス式A320-214型	JA13VA	東京国際空港	東京国際空港	乗務前のアルコール検査を実施せずに運航したことが判明した。	
4/9	せとうちSEAPLANES	クエストKodiak 100型	JA04TG			出発前の点検で、前方左側の支柱取付け部に亀裂が発見された。	
4/9	日本航空	ボーイング式777-200型	JA773J	大阪国際空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/10	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA306K			定時整備中、水平安定板の取付け部に腐食が発見された。	
4/10	日本航空	ボーイング式787-8型	JA833J			発動機整備の委託先において、耐空性改善通報により、取付けが認められていない部品が取り付けられていることが判明した。	
4/10	日本航空	ボーイング式787-8型	JA827J	中部国際空港	バンコク	航空身体検査基準に関わる疾病の診断結果を報告せずに、乗務を継続していたことが判明した。	
4/11	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA22JJ	福岡空港	成田国際空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
4/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NE	中部国際空港	那覇空港	運航整備中、作業漏れがあり、不具合を示す警報が点灯したため離陸を中止した。	
4/11	フジドリームエアラインズ	エンブラエルERJ170-200STD型	JA11FJ	百里飛行場	広島空港	停止操作を失念したことから、補助動力装置の運用限界高度を超過した。	
4/11	全日本空輸	エアバス式A380-841型	JA381A	関西国際空港	成田国際空港	出発準備中、安全ベルト着用標識の一部に製造者が認めていない部品が使用されており、調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
4/11	日本航空	ボーイング式737-800型	JA326J	岡山空港	東京国際空港	到着後の点検にて、鳥衝突による第2エンジンのファンブレードの変形を発見した。	
4/11	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA21MC	東京国際空港	関西国際空港	飛行勤務前のアルコール検査結果の記録を失念したまま運航したことが判明した。	
4/12	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA06JJ			定時整備中、航空機用救命無線機のアンテナが欠落していることが発見された。	
4/12	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA802X	東京国際空港	大分空港	社内調査の結果、空調計器の不具合に対して、誤った運用許容基準を適用したことが判明した。	
4/12	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA741A	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/13	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA01HD	東京国際空港	新千歳空港	運航整備中、客室内の非常灯の一部が点灯しなかった。	
4/13	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA12JJ	鹿児島空港	成田国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/13	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA05GR	成田国際空港	ハルビン	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があったため引き返した。	イレギュラー運航
4/14	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA26MC	北九州空港	那覇空港	運航整備中、乗客用座席の部品の一部に製造者が認めていない部品が使用されており、調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
4/14	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA877A	デュッセルドルフ	成田国際空港	地上担当者が、受託手荷物搭載数の確認不足により違う位置に搭載した結果、誤った重量・重心位置データで運航したことが判明した。	
4/15	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA23JJ	鹿児島空港	中部国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
4/15	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA23JJ	新千歳空港	中部国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
4/16	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA846A	那覇空港	大阪国際空港	離陸後、脚が通常と異なる位置にあることを示すライトが点灯したため引き返した。	イレギュラー運航
4/16	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA05RJ			社内調査の結果、前脚関連部品の点検期限が超過していたことが判明した。	
4/16	ジェイエア	エンブラエルERJ190-100STD型	JA248J	宮崎空港	大阪国際空港	定時整備中、化粧室内の消火ボルトの圧力が低下していることが発見された。	
4/16	パナ・エア	エアバス式A320-214型	JA02VA			装備品整備中、航空機用救命無線機の電波の一部が発出されない不具合が発見された。	
4/18	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA98AD			社内調査の結果、耐空性改善通報による点検期限を超過していたことが判明した。	
4/18	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA62AN	東京国際空港	岩国飛行場	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/18	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737U	百里飛行場	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/18	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA801P	関西国際空港	香港	飛行中、気象レーダーに不具合があったことを示す計器表示があった。	
4/18	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA866A			定時整備中、第1エンジンの逆推力装置の集音パネルの一部が欠損していた。	
4/18	琉球エア・コミュニティー	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA85RC	北大東空港	那覇空港	出発前に機内通話装置に不具合が発生した。	
4/18	琉球エア・コミュニティー	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA85RC	那覇空港	久米島空港	着陸後に機内通話装置に不具合が発生した。	
4/19	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA806P			定時整備中、左主翼上面に腐食が発見された。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
4/19	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA752A			定時整備中、左右の主翼下面に腐食が発見された。	
4/20	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA848A	大阪国際空港	松山空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
4/20	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA09FJ	熊本空港	名古屋飛行場	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
4/20	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA821A	広島空港	東京国際空港	到着後、機内飲料水を給水するためのアクセスパネルが欠落していることが発見された。	
4/21	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA804X			定例整備中、化粧室内の一部の酸素供給装置が展開しないことが判明した。	
4/22	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA245J	大阪国際空港	福岡空港	到着後、作業用無線機が貨物室で発見された。	
4/22	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA805P	釧路空港	関西国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/22	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA248J	宮崎空港	大阪国際空港	振動により推力調整器の位置が変化し、調整器が正規の位置にないことを示す計器表示があったため離陸を中断した。	
4/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NJ			定時整備中、客室内の携帯用消火器から漏れが発見された。	
4/23	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA817P	関西国際空港	ソウル(仁川)	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/23	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA11FJ	山形空港	名古屋飛行場	離陸滑走中、滑走路を逸脱した。	重大インシデント
4/23	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA06RK	那覇空港	中部国際空港	離陸前、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
4/23	日本航空	ボーイング式777-200型	JA707J	東京国際空港	スワンナプーム国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/23	日本航空	ボーイング式737-800型	JA324J	東京国際空港	松山空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/24	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-216型	JA02DJ	台北(桃園)	中部国際空港	飛行中、化粧室内の煙探知機の作動を示す計器表示があった。	
4/24	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA817P	関西国際空港	釜山	地上走行中、化粧室内の煙探知機に不具合があったことを示す計器表示があった。	
4/24	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA825P	関西国際空港	新石垣空港	降下中、客室内の壁に取り付く、隙間埋めのプラスチックが外れて落下した。	
4/24	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA620A	上海(浦東)	成田国際空港	進入中、管制指示高度の失念と確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
4/24	朝日航洋	マテル・ダグラス式MD900型	JA6790			飛行勤務開始時のアルコール検査を行ったところ、操縦士からアルコールが検知された。	
4/25	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA817P	ソウル(仁川)	関西国際空港	進入中、化粧室内の煙探知機に不具合があったことを示す計器表示があった。	
4/25	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA8664			定時整備中、水平安定板の上面に腐食が発見された。	
4/25	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8987	東京国際空港	大分空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/25	日本航空	ボーイング式777-300型	JA8945			運航整備中、機外脱出用の非常用照明灯レンズに製造者が認めていない部品が使用されていた。調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
4/25	日本航空	ボーイング式737-800型	JA329J	成田国際空港	福岡空港	運航乗務員が乗務後のアルコール検査を実施していないことが判明した。	
4/26	日本エアコミューター	ATR42-500型	JA01JC	屋久島空港	鹿児島空港	地上担当者の、連絡の不備により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
4/27	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	大阪国際空港	新潟空港	地上担当者の確認不足により、旅客の内訳を誤ったことから、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
4/27	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ	成田国際空港	アムステルダム	進入中、対地接近警報装置に不具合があったことを示す計器表示があった。	
4/29	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA09JJ			整備委託先の作業において、空調系統のホースの取付けに不備があったことが判明した。	
4/29	日本航空	ボーイング式787-9型	JA871J	上海(浦東)	成田国際空港	飛行勤務開始時のアルコール検査を行ったところ、運航乗務員からアルコールが検知された。	
4/30	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA787A	ニューヨーク	東京国際空港	到着後、主脚のタイヤが部分的に剥がれていることが発見された。	
5/1	小川航空	ロビンソン式R44型	JA7936	舞洲ヘリポート	舞洲ヘリポート	乗務前のアルコール検査を実施せずに運航したことが判明した。	
5/2	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA613A	新千歳空港	東京国際空港	運航整備中、操縦室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
5/2	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA10FJ	松本空港	鹿児島空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/2	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA614A	東京国際空港	高知空港	離陸から上昇中にかけて操縦室内でオイル臭がした。	
5/3	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA12FJ	名古屋飛行場	新潟空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/5	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA52AN	長崎空港	大阪国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
5/5	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA25JJ			特別整備中、客室乗務員用座席の構成部品の一部に製造者が認めていない部品が取付けられていた。調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
5/6	日本航空	ボーイング式737-800型	JA312J	天津	中部国際空港	進入中、急激な風向の変化への対応に不足があり、フラップの運用限界高度を超過した。	
5/7	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA812P	台北(桃園)	那覇空港	運用許容基準を適用にあたり必要な措置を行っていなかったことが判明した。	
5/7	日本航空	ボーイング式787-9型	JA871J	上海(浦東)	成田国際空港	飛行管理装置のデータベースの特性により、管制指示経路を逸脱した。	
5/8	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA81AN	長崎空港	大阪国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/8	日本航空	ボーイング式777-200ER型	JA704J	シンガポール	東京国際空港	到着後、第1エンジンの空気取入れ口の集音パネルの一部が欠損していた。	
5/8	日本航空	ボーイング式787-9型	JA872J	デリー	成田国際空港	乗り継ぎの保安検査にて危険物が発見されたことから、前便は無申告で輸送していたことが判明した。	
5/9	日本航空	ボーイング式787-8型	JA826J	成田国際空港	大連	飛行中、乗降用扉の非常用動力装置に不具合があったことを示す計器表示があった。	
5/10	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA613A	新千歳空港	東京国際空港	エンジン始動後、燃料油料計に不具合があったことを示す計器表示があった。	
5/10	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA801X	那覇空港	神戸空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/10	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA03FJ	静岡空港	福岡空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/10	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA05FJ	名古屋飛行場	熊本空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
5/10	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA619A	関西国際空港	上海(浦東)	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/11	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA14AN	女満別空港	東京国際空港	管制指示を誤認したことから、管制指示高度を逸脱した。	
5/12	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA98AD	旭川空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/12	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA84AN	東京国際空港	中標津空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
5/13	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA302K			装備品整備中、航空機救命無線機の電波の一部が発出されない不具合が発見された。	
5/13	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA856A	宮崎空港	福岡空港	降下中、機速の把握に不足があり、運用限界速度を超過した。	
5/13	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA212J			社内調査の結果、耐空性改善通報により装着が制限されている部品が装着されていたことが判明した。	
5/13	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA802X	東京国際空港	熊本空港	運用許容基準の適用にあたり、運航担当者が誤認したことから、誤った重量・重心位置データで運航したことが判明した。	
5/14	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA67AN	東京国際空港	関西国際空港	着陸時における引き上げ操作と計器の確認不足により、胴体尾部を滑走路に接触させた。	
5/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737T	東京国際空港	福岡空港	上昇中、機内通話システムの一部が不動作となった。	
5/14	朝日航洋	ユーロコプター式AS350B3型	JA6505	朝日川越ヘリポート	朝日川越ヘリポート	飛行試験項目の、オートローテーションにおけるローター回転数の確認を行っていたところ、ローター回転数の運用限界を超過した。	
5/15	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737T	新千歳空港	東京国際空港	巡航中、機内通話システムの一部が不動作となった。	
5/15	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA56AN	東京国際空港	那覇空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/16	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA78AN	神戸空港	新千歳空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
5/16	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-216型	JA03DJ			社内調査の結果、整備管理システムへの登録に誤りがあったことから、点検の実施期限を超過した。	
5/17	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA04JJ			社内調査の結果、実施した整備作業が航空日誌に記載されていないことが判明した。	
5/17	日本航空	ボーイング式767-300ER型	JA606J	グアム	成田国際空港	離陸後の手動による上昇中、計器の確認不足によりフラップの運用限界速度を超過した。	
5/19	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA01HD	新千歳空港	東京国際空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
5/19	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA78AN	大阪国際空港	鹿児島空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
5/19	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-216型	JA01DJ	中部国際空港	新千歳空港	進入中、確認会話を誤認し、フラップ展開を行ったことから、フラップの運用限界速度を超過した。	
5/19	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-216型	JA03DJ	中部国際空港	新千歳空港	出発準備中、客室内の防水携帯灯が不具合があることを発見した。	
5/20	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA841A	釧路空港	新千歳空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
5/20	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA09RJ			定時整備中、胴体の構造部に腐食が発見された。	
5/20	オールニッポンヘリコプター	エアロスペース式AS365N2型	JA62NH	仙台空港	仙台空港	社内調査の結果、製造者が取付けを認めていないテールギヤボックスが取り付けられていたことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
5/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NT	新千歳空港	東京国際空港	上昇中、機内通話システムの一部が不動作となった。	
5/20	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA59AN	岩国飛行場	東京国際空港	整備委託先において、貨物室内の消火ボルの配線が接続されていないことが判明した。	
5/20	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA01RK	那覇空港	岡山空港	離陸前、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/21	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA22MC			操縦室内の酸素流量計の表示が通常と異なることを発見した。	
5/21	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA12AN	東京国際空港	釧路空港	進入中、一時的な大気擾乱により、対地接近警報装置が作動したことから、復行したところフラップの運用限界速度を超過した。	
5/22	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA03JC	喜界空港	奄美空港	飛行中、他機との接近に気をとられ、機速の把握に不足があったことからフラップの運用限界速度を超過した。	
5/22	朝日航洋	川崎BK117C-2型	JA6925	山口市内場外	山口市内場外	上昇中、鳥との衝突を回避した際、マストモーメントが限界を超えた計器表示があった。	
5/23	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA06MC			整備委託先において、主脚格納室内のカバーの取付けに不備があったことが判明した。	
5/23	バニラ・エア	エアバス式A320-214型	JA15VA	新千歳空港	成田国際空港	運航検査において、非常用脱出口の操作標識の一部に、図柄の左右の向きが逆の部品が使用されていることが判明した。	
5/24	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA464A			整備品整備中、航空機用救命無線機の重力検知器に不具合が発見された。	
5/25	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA21JJ	関西国際空港	成田国際空港	搭乗手続きにて乗客からの申告がなかったため、危険物が誤って輸送されたことが判明した。	
5/25	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA09MC	福岡空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/25	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA06GR	ハルビン	成田国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
5/25	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA06RK	東京国際空港	宮古空港	バック固数入力担当者が、受託手荷物搭載数を思い込みにより違う位置に搭載した結果、誤った重量・重心位置データで運航したことが判明した。	
5/26	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA705A			定時整備中、右主翼下面の外皮に腐食が発見された。	
5/27	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA09MC	東京国際空港	北九州空港	整備委託先において、油圧ポンプのバックギンに製造者が認めていない部品が取付けられていたことが判明した。	
5/27	新中央航空	ルアグ式Dornier228-212型	JA35CA	調布飛行場	新島空港	飛行中、航空機衝突防止装置及び対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があったことから引き返した。	イレギュラー運航
5/27	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA779A			定時整備中、客室内の酸素マスクの一部が展開しないことが判明した。	
5/28	ジェイエア	エンブラエルERJ170-100STD型	JA219J	花巻空港	大阪国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/28	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA05GR	寧波	成田国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
5/28	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA616A	那覇空港	高松空港	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
5/28	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA809X	大分空港	東京国際空港	運航乗務員が乗務後のアルコール検査を実施していないことが判明した。	
5/29	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA804X			社内調査の結果、燃料遮断弁用バッテリーの交換期限が超過していたことが判明した。	
5/29	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA834A	成田国際空港	マニラ	巡行中、管制指示を誤認したことから、管制指示経路を逸脱した。	
5/29	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA708A	那覇空港	東京国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/30	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA463A	大阪国際空港	熊本空港	上昇中、与圧系統に不具合が発生したことを示すライトが点灯したため引き返した。	イレギュラー運航
5/30	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA11RJ	仙台空港	福岡空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/30	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA807P	新千歳空港	関西国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/30	日本航空	ボーイング式737-800型	JA329J	東京国際空港	女満別空港	航空身体検査で認められていない眼鏡を使用して運航したことが判明した。	
5/30	スカイマーク			中部国際空港	那覇空港	飛行動作開始時のアルコール検査を行ったところ、運航乗務員からアルコールが検知された。	
5/30	日本航空	ボーイング式777-200ER型	JA710J	バンコク	東京国際空港	飛行中、乗客の意識がなくなったことから、緊急着陸をした際、最大着陸重量を超過した。	
5/31	ディーエイチシー	川崎BK117B-2型	JA6651			社内調査の結果、操縦系統の構成部品が限界使用時間を超過していたことが判明した。	
5/31	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA807P	仙台空港	関西国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/1	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA53AN	福岡空港	中部国際空港	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
6/1	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA896A	クアラルンプール	成田国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/1	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA828A	サンノゼ	成田国際空港	飛行中、2つある空調系統の双方が相次いで不動作となったことを示す計器表があったため、緊急事態を宣言し降下した。	重大インシデント

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
6/3	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA841A	福岡空港	対馬空港	降下中、着陸形態にも拘わらず着陸形態にないことを示す警報があったため引き返した。	イレギュラー運航
6/3	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA802B	長崎空港	対馬空港	上昇中、与圧系統の計器が不安定になったことから引き返した。	イレギュラー運航
6/3	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA	神戸空港	百里飛行場	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/4	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA305K	那覇空港	福岡空港	飛行中、乱気流に遭遇した際、客室内照明灯が外れ、垂れ下がった。	
6/4	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA306K			定時整備中、胴体の構造部に亀裂が発見された。	
6/4	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA09JJ	新千歳空港	関西国際空港	確認が不足したことにより、搭載用航空日誌に必要事項を記載せずに運航した。	
6/4	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA09JJ	関西国際空港	成田国際空港	確認が不足したことにより、搭載用航空日誌に必要事項を記載せずに運航した。	
6/4	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA09JJ	関西国際空港	新千歳空港	確認が不足したことにより、搭載用航空日誌に必要事項を記載せずに運航した。	
6/4	バニラ・エア	エアバス式A320-214型	JA09VA			社内調査の結果、実施した一部の作業が航空日誌に記載されていないことが判明した。	
6/4	バニラ・エア	エアバス式A320-214型	JA09VA			社内調査の結果、部品交換時の取付け手順に誤りがあったことが判明した。	
6/4	新中央航空	ドルニエ式Dornier228-212型	JA33CA			定時整備中、左主翼下面の外皮に腐食が発見された。	
6/4	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA608A	鹿児島空港	東京国際空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
6/4	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA892A	ウィーン	東京国際空港	到着後、作業用端末が貨物室で発見された。	
6/5	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA05JJ	成田国際空港	熊本空港	地上担当者の確認不足により、必要な医薬品が不足していたことが判明した。	
6/5	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NK			定時整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
6/5	日本航空	ボーイング式737-800型	JA314J	広島空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/5	日本航空	ボーイング式777-300型	JA894A	那覇空港	東京国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
6/5	日本航空	ボーイング式737-800型	JA318J	徳島飛行場	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/6	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA847A	大阪国際空港	大分空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
6/6	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA82AN	東京国際空港	大分空港	降下中、乗員間の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
6/6	日本エアコミューター	ATR42-500型	JA04JC			社内調査の結果、部品交換時の取付け手順に誤りがあったことが判明した。	
6/7	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA601A	新千歳空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/7	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA740J	シカゴ	成田国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
6/7	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA85RC	那覇空港	新石垣空港	運航整備中、非常口案内灯が点灯しないことを発見した。	
6/8	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA613A	新千歳空港	東京国際空港	地上担当者や機長の相互の確認不足により、出発後に修理持越しに必要な措置を行っていないことが判明したため、修正したデータを機長に伝え承認を得て離陸した。	
6/8	日本航空	ボーイング式777-200ER型	JA704J	東京国際空港	バンコク	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/8	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA03RK	東京国際空港	宮古空港	飛行勤務開始時のアルコール検査を行ったところ、運航乗務員からアルコールが検知された。	
6/9	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA809P	那覇空港	関西国際空港	離陸滑走中、操縦系統の不具合が発生したことを示す計器表示があったため、離陸を中止した。	
6/10	日本航空	ボーイング式787-9型	JA865J	ボストン	成田国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
6/11	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA84AN	福岡空港	那覇空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
6/11	日本航空	ボーイング式787-9型	JA871J	ジャカルタ	成田国際空港	運用許容基準の適用にあたり理解不足があったことから、臨界点速度を超えて離陸を中止した。	
6/12	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA218A	杭州	成田国際空港	離陸直後、第1エンジンの制御系統に不具合が発生したことを示す計器表示があったことから、エンジンを停止させ引き返した。	イレギュラー運航
6/12	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA735J	シカゴ	成田国際空港	到着後、作業用端末が貨物室で発見された。	
6/12	日本航空	ボーイング式737-800型	JA315J	上海(浦東)	関西国際空港	到着後、作業員の携帯電話が貨物室で発見された。	
6/13	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA822A	成田国際空港	シアトル	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/14	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA88AN	長崎空港	大阪国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
6/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NG			定時整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
6/15	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AB	神戸空港	東京国際空港	進入中の滑走路を、他機が横断した。	重大インシデント
6/15	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA885A	バンクーバー	東京国際空港	着陸後、他機が進入中の滑走路を横断した。	重大インシデント
6/15	日本航空	ボーイング式787-8型	JA830J	北京	成田国際空港	降下中、急激な上昇気流に遭遇し、指示高度を超過した。	
6/16	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA844A	中部国際空港	新潟空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
6/17	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA801B			社内調査の結果、発電機からの滑油漏れに対して、不適切な処置を行っていたことが判明した。	
6/17	日本航空	ボーイング式787-8型	JA833J	成田国際空港	上海(浦東)	飛行中、気流の変化に気をとられ、機速の把握に不足があったことからフラップの運用限界速度を超過した。	
6/18	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NQ	那覇空港	東京国際空港	到着後の点検にて、外的要因による第2エンジンの空気取り入れ口付近の損傷を発見した。	
6/18	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA805X	鹿児島空港	東京国際空港	上昇中、機体姿勢の変化により、燃料油量の左右差が運用限界を超過した。	
6/18	日本航空	ボーイング式787-9型	JA868J	成田国際空港	フランクフルト	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/19	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA15JJ			社内調査の結果、飛行記録装置に取り付く水中発信器の交換に関する初期登録を誤ったことから、交換期限を超過した。	
6/19	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA07JJ			社内調査の結果、飛行記録装置に取り付く水中発信器の交換に関する初期登録を誤ったことから、交換期限を超過した。	
6/19	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA809X			整備委託先において、油圧系統のフィルターの取付けに不備があったことが判明した。	
6/19	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8342			定時整備中、水平安定板の上面に腐食が発見された。	
6/19	全日本空輸					審査合格後の通知を受領する前に、運航業務を行った。	
6/19	日本航空	ボーイング式787-8型	JA829J	ホーチミン	成田国際空港	乗務中、突然の腹痛により、認められていない医薬品を服用した。	
6/20	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA854A	熊本空港	大阪国際空港	降下中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/20	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA801A	東京国際空港	上海(虹橋)	管制からの許可を誤認したことから、管制指示高度を超過した。	
6/22	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA15JJ	新千歳空港	成田国際空港	上昇中、慣性航法装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/22	日本航空	ボーイング式737-800型	JA329J	大阪国際空港	成田国際空港	乗り継ぎの保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
6/25	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA19JJ	福岡空港	成田国際空港	降下中、レバー操作を誤ったことから、フラップの運用限界速度を超過した。	
6/25	バニラ・エア					運航乗務員が服用を認められていない薬品を服用していたことが判明した。	
6/26	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA601A			社内調査の結果、耐空性改善通報による燃料ポンプの点検期限を超過したことが判明した。	
6/26	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA602A			社内調査の結果、耐空性改善通報による燃料ポンプの点検期限を超過したことが判明した。	
6/26	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA854A	福岡空港	福江空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
6/26	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	成田国際空港	香港	社内調査の結果、製造者の認めていない部品を装着していたことが判明した。	
6/26	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8986	旭川空港	東京国際空港	社内調査の結果、客室のライトに対して、誤った運用許容基準を適用したことが判明した。	
6/28	バニラ・エア	エアバス式A320-214型	JA03VA	成田国際空港	新千歳空港	出発後の地上滑走中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/28	日本エアコミューター	ATR42-500型	JA01JC	大阪国際空港	屋久島空港	貨物の一部を搭載し失念した結果、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
6/29	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA19JJ	中部国際空港	鹿児島空港	地上担当者が誤った駐機場へ旅客を搬送したことから、全ての旅客が揃わないまま出発した。	
6/29	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737T			社内調査の結果、製造者の認めていない部品を装着していたことが判明した。	
6/29	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA616A	大分空港	東京国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/30	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA608A	東京国際空港	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/30	全日本空輸	エアバス式A321-211型	JA111A	東京国際空港	岡山空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/30	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8987	熊本空港	東京国際空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/1	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA801A	マニラ	成田国際空港	飛行中、機長側の酸素マスクを取り出したところ、ホースから漏れがあった。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
7/2	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA251J	新千歳空港	仙台空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/3	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA244J	仙台空港	大阪国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/3	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA782A	上海(浦東)	成田国際空港	自動操縦装置の操作が不適切であったことから、管制指示経路を逸脱した。	
7/3	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA10RK	東京国際空港	新石垣空港	離陸前、航空機衝突防止装置に不具合があったことを示す計器表示があった。	
7/3	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA06RK	中部国際空港	那覇空港	離陸前、航空機衝突防止装置に不具合があったことを示す計器表示があった。	
7/3	日本航空	ボーイング式777-200型	JA8979	新千歳空港	東京国際空港	整備士の確認不足により、危険物を輸送したことが判明した。	
7/4	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-216型	JA01DJ			定時整備中、非常用照明灯のバッテリーに不具合があることが判明した。	
7/4	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA14JJ	鹿児島空港	中部国際空港	地上担当者が誤った旅客内訳の登録をしたことから、誤った重量・重心位置データで運航したことが判明した。	
7/4	日本エアコミューター	ATR式72-212A型	JA08JC			運航整備中、非常用照明灯の操作盤に不具合があることが判明した。	
7/4	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA04GR	重慶	成田国際空港	上昇中、一時的な擾乱により失速したことから回避操作を行った。	
7/5	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA90AN	東京国際空港	岡山空港	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/5	日本航空	ボーイング式787-8型	JA823J	中部国際空港	成田国際空港	乗り継ぎの保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
7/5	日本航空	ボーイング式777-300型	JA8944	大阪国際空港	那覇空港	進入中、悪天候のため高度調整していたところ、エンジンの排気ガス温度が運用限界を超過した。	
7/6	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA841A	松山空港	大阪国際空港	進入中、航空機衝突防止装置に不具合があったことを示す計器表示があった。	
7/6	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA90AN	新千歳空港	小松飛行場	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/6	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA05MC	東京国際空港	関西国際空港	整備士の理解不足により、必要な連絡を行わずに運用許容基準を適用し、運航した。	
7/6	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA05JR	広島空港	成田国際空港	上昇中、2つある航法計器が不作用となった。	
7/6	日本航空	ボーイング式737-800型	JA304J	上海(浦東)	成田国際空港	進入中、1枚のスポイラーが展開状態から動かなくなった。	
7/7	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA03JJ	関西国際空港	下地島空港	飛行中、経路上の天候不良に気を取られ、管制指示経路を逸脱した。	
7/7	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA05MC	北九州空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/8	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA14RJ	大阪国際空港	新潟空港	離陸直後、機内用照明灯のベースの一部が取付け部から外れ、片持ち状態となった。	
7/8	日本航空	ボーイング式737-800型	JA309J	福岡空港	新千歳空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/9	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA845A	新千歳空港	稚内空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
7/9	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA620A	台北(松山)	ヤンゴン	運航後、急病人への対応に追われたことから、適用すべき運用許容基準を適用していなかったことが判明した。	
7/9	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA05RK	中部国際空港	那覇空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
7/9	本田航空	ユーロプター式EC135P2+型	JA03HA			社内調査の結果、発動機部品の点検期限が超過していたことが判明した。	
7/9	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA82RC	久米島空港	那覇空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
7/9	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA620A	成田国際空港	ヤンゴン	急病人発生による緊急着陸の際、最大着陸重量を超過した。	
7/10	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA54AN	新千歳空港	富山空港	管制からの降下指示への対応後、脚上げ操作を行ったが、確認不足により、脚格納時の運用限界速度を超過した。	
7/10	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA51AN			定時整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
7/10	日本航空	ボーイング式767-300ER型	JA614J	東京国際空港	新千歳空港	社内調査の結果、貨物室に製造者が認めていない固定具が取付けられていたことが判明した。	
7/11	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA601A			定時整備中、左主翼の構造部材に腐食が発見された。	
7/11	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA03AN	香港	中部国際空港	飛行中、機内の異臭及び機体振動が発生し、第1エンジンの出力が低下したことから、エンジンを停止させ目的地を変更した。	イレギュラー運航
7/11	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA878A	ブノンベン	成田国際空港	飛行中、副操縦士側の酸素マスクを取り出したところ、ホースから漏れがあった。	
7/12	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA75AN	佐賀空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/12	ジャネット					運航乗務員が服用を認められていない薬品を服用していたことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
7/12	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA789A	成田国際空港	ワシントン	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/12	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA707A	那覇空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/12	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA828A	成田国際空港	メキシコ	進入中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/13	日本航空	ボーイング式777-200型	JA8978	新千歳空港	東京国際空港	到着後、主脚ブレーキの構成部品が欠損していた。	
7/14	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA09AN	帯広空港	東京国際空港	旅客搭乗中、危険物を発見したが、取り下ろすことなく、運航した。	
7/14	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA246J	秋田空港	大阪国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/15	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA04JC	鹿児島空港	福岡空港	地上担当者の確認不足により、搭載が必要な重しを搭載せずに運航した。	
7/16	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA601A	那覇空港	東京国際空港	運航整備中、通常点灯しないはずのスイッチ操作で非常用照明灯が点灯した。	
7/16	全日本空輸	エアバス式A321-211型	JA114A	大館能代空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/16	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA07RK	那覇空港	東京国際空港	離陸前、航空機衝突防止装置に不具合があったことを示す計器表示があった。	
7/17	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA02GR	成田国際空港	武漢	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
7/17	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA819A	大阪国際空港	東京国際空港	降下中、第2エンジンの滑油量が低下したことを示す計器表示があった。	
7/17	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA790A			確認主任者に必要な経験要件を満足しないまま業務に従事したことが判明した。	
7/17	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA785A			確認主任者に必要な経験要件を満足しないまま業務に従事したことが判明した。	
7/17	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA706A			確認主任者に必要な経験要件を満足しないまま業務に従事したことが判明した。	
7/17	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA786A			確認主任者に必要な経験要件を満足しないまま業務に従事したことが判明した。	
7/17	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA791A			確認主任者に必要な経験要件を満足しないまま業務に従事したことが判明した。	
7/17	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA787A			確認主任者に必要な経験要件を満足しないまま業務に従事したことが判明した。	
7/17	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA791A			確認主任者に必要な経験要件を満足しないまま業務に従事したことが判明した。	
7/17	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA785A			確認主任者に必要な経験要件を満足しないまま業務に従事したことが判明した。	
7/17	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA716A			確認主任者に必要な経験要件を満足しないまま業務に従事したことが判明した。	
7/17	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA783A			確認主任者に必要な経験要件を満足しないまま業務に従事したことが判明した。	
7/17	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA10RK	福岡空港	那覇空港	出発に向けて発動機を始動したところ、航空機衝突防止装置に不具合があったことを示す計器表示があった。	
7/17	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	成田国際空港	アンカレッジ	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/17	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8976			装備品整備中、非常用脱出装置の一部が展開しないことが判明した。	
7/17	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA08JJ	成田国際空港	マニラ	飛行中、機速が減少したため、管制指示を得ずに降下した。	
7/18	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA803P	関西国際空港	鹿児島空港	上昇中、気象レーダーに不具合があったことを示す計器表示があったため引き返した。	イレギュラー運航
7/18	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA60AN	東京国際空港	佐賀空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/18	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA04RK	新石垣空港	那覇空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/18	日本航空	ボーイング式777-200型	JA010D	東京国際空港	那覇空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/19	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ			社内調査の結果、製造者の認めていない部品を装着していたことが判明した。	
7/20	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA01HD	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Y	福岡空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/21	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-211型	JA8946	東京国際空港	宮崎空港	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/21	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA01RK	久米島空港	那覇空港	滑走路に進入中、他機が滑走路に進入したため、管制指示により復行した。	重大インシデント
7/21	日本航空	ボーイング式767-300ER型	JA619J	成田国際空港	ホノルル	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
7/22	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA01HD			社内調査の結果、耐空性改善通報による機体構造の点検期限を超過したことが判明した。	
7/22	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA01HD	女満別空港	東京国際空港	定時整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
7/22	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA211J	仙台空港	大阪国際空港	整備委託先において、非常用脱出装置の取付け手順に誤りがあったことが判明した。	
7/22	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA03JJ	関西国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/22	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ	成田国際空港	ロサンゼルス	地上担当者の確認不足により、必要な航空情報を反映せずに飛行計画を作成し、運航した。	
7/23	日本航空	ボーイング式787-8型	JA844J	成田国際空港	シドニー	乗員間の会話が不足したため速度の確認が不十分であったことからフラップの運用限界速度を超過した。	
7/24	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA19JJ	鹿児島空港	中部国際空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
7/24	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA812P	関西国際空港	那覇空港	離陸滑走中、左右の速度計の値に差があったことから離陸を中止した。	
7/24	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA611A	岡山空港	東京国際空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/25	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA214J	大阪国際空港	女満別空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/25	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	東京国際空港	那覇空港	地上担当者の確認不足により、必要な航空情報を反映せずに飛行計画を作成し、運航した。	
7/25	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA07RK	那覇空港	新石垣空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/25	日本航空	ボーイング式777-300型	JA8944	新千歳空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/25	日本航空	ボーイング式767-300ER型	JA606J	ホノルル	成田国際空港	乗り継ぎの保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
7/25	日本航空	ボーイング式787-8型	JA836J	シアトル	成田国際空港	乗り継ぎの保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
7/26	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA844A	小松飛行場	福岡空港	飛行中、他業務に追われロックを失念したことから、着陸時にギャレーからコンテナが飛び出した。	
7/26	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA780A	成田国際空港	サンフランシスコ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/26	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ	シンガポール	バンコク	地上担当者の確認不足により、発地国承認が未取得で危険物を輸送したことが判明した。	
7/27	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA70AN	大阪国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/27	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA801B	福江空港	長崎空港	着陸後、航空機衝突防止装置に不具合があったことを示す計器表示があった。	
7/27	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA784A	東京国際空港	ロンドン	離陸直後、客室後方の天井が片吊り状態になった。	
7/27	日本エアコミューター	ATR式72-212A型	JA06JC	鹿児島空港	屋久島空港	着陸時、気流の変化に対応できず、胴体尾部を滑走路に接触させた。	
7/30	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA16AN	東京国際空港	釧路空港	出発に向けて発動機を始動したところ、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/30	ANAウイングス	ボーイング式737-700型	JA04AN	中部国際空港	熊本空港	整備士の操作に不備があったことから、飛行中、燃料油量の左右差が運用限界を超過した。	
7/30	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA85RC	久米島空港	那覇空港	乗り継ぎ便の機内にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
7/31	日本航空	ボーイング式787-8型	JA827J	ソウル(金浦)	東京国際空港	離陸時に、航空機救命無線機が作動したことを示す計器表示があった。	
7/31	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA24MC	那覇空港	北九州空港	運航乗務員が空輸便乗務前のアルコール検査を未実施のまま、出発させた。	
7/31	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA05GR	成田国際空港	佐賀空港	飛行勤務開始時のアルコール検査を行ったところ、運航乗務員からアルコールが検知された。	
8/1	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA05RJ	仙台空港	小松飛行場	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便で無申告で輸送していたことが判明した。	
8/2	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA216J	大阪国際空港	花巻空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
8/2	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA06MC	東京国際空港	関西国際空港	降下中、気象レーダーに不具合があったことを示す計器表示があった。	
8/2	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA823P	那覇空港	関西国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/2	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA13FJ	名古屋飛行場	青森空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
8/2	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA04FJ	松本空港	福岡空港	停止操作を失念したことから、補助動力装置の運用限界高度を超過した。	
8/2	日本航空	ボーイング式777-200型	JA8984	東京国際空港	那覇空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/2	日本航空	ボーイング式767-300ER型	JA613J	東京国際空港	福岡空港	降下中、乗員間の確認が不足したことから、フラップの運用限界速度を超過した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
8/3	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA98AD			社内調査の結果、補助動力装置の部品の一部に製造者が認めていない部品が使用されていることが判明した。	
8/4	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA22JJ	成田国際空港	新千歳空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/4	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	ミラノ	成田国際空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/5	エアー・ジャパン	ボーイング式767-300型	JA625A	香港	成田国際空港	社内調査の結果、機内照明の不具合に対して必要とされる運用許容基準を適用せずに運航したことが判明した。	
8/5	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA25MC	山口宇部空港	東京国際空港	整備委託先において、実施した整備作業が航空日誌に記載されていないまま、機体を受領した。	
8/6	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA848A	大阪国際空港	秋田空港	離陸後、ラダートリムの作動が不安定となったため引き返した。	イレギュラー運航
8/6	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA17JJ	成田国際空港	成田国際空港	離陸後、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/6	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA17JJ	成田国際空港	成田国際空港	試験飛行中、客室内の酸素マスクが展開しないことが判明した。	
8/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AA	鹿児島空港	奄美空港	飛行中、気象レーダーに不具合があったことを示す計器表示が一時的にあった。	
8/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA			地上試験において、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
8/6	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA22MC	東京国際空港	北九州空港	整備委託先で実施した客室内の壁の取付け作業において不備があったことが判明した。	
8/6	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA879A	東京国際空港	ジャカルタ	飛行中、通信環境が悪く、管制と相互確認が取れなかったことから、指示高度を超過した。	
8/7	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA53AN	那覇空港	福岡空港	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
8/7	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA76AN	静岡空港	那覇空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
8/7	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA241J	山形空港	大阪国際空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
8/7	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA21JJ	那覇空港	成田国際空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/7	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA61AN	東京国際空港	佐賀空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/7	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ			定時整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
8/7	琉球エア・コンピューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA81RC	与那国空港	新石垣空港	離陸滑走中、第1エンジンの出力が追従しなかったため、離陸を中止した。	
8/8	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA03FJ	名古屋飛行場	熊本空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
8/9	エアー・ジャパン	ボーイング式767-300型	JA619A	香港	成田国際空港	到着後の点検で、鳥衝突により第2エンジンの圧縮機ブレードが損傷した。	
8/9	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AA	福岡空港	東京国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
8/9	全日本空輸	ボーイング式777F型	JA772F	関西国際空港	上海(浦東)	抽気システムの運用許容基準の適用にあたり誤った処置をしていたことが判明した。	
8/9	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA615A	山口宇部空港	東京国際空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
8/10	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA856A	函館空港	新千歳空港	着陸時、燃料ポンプの一部が不動作となった。	
8/10	日本航空	ボーイング式767-300ER型	JA623J	鹿児島空港	東京国際空港	飛行勤務開始時のアルコール検査を行ったところ、運航乗務員からアルコールが検知された。	
8/11	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA855A	福岡空港	宮崎空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/11	日本航空	ボーイング式777-200型	JA898A	那覇空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/11	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA24MC	北九州空港	台北(桃園)	飛行勤務開始時のアルコール検査を行ったところ、運航乗務員からアルコールが検知された。	
8/12	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA802B	対馬空港	長崎空港	社内調査の結果、定時点検の実施期限を超過していたことが判明した。	
8/13	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA815P	上海(浦東)	関西国際空港	飛行中、化粧室内の煙探知機に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/13	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA82AN	高知空港	大阪国際空港	出発前に飛行管理装置へ誤った入力を行ったことから、上昇中、管制指示経路を逸脱した。	
8/13	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA76AN	新千歳空港	大阪国際空港	乗員間の周回進入に関する認識が不十分であったことから、対地接近警報が作動した。	
8/14	全日本空輸					担当者の誤った認識により、所定の復帰訓練・審査の一部を未了のまま、客室乗務を再開させた。	
8/14	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA793A	ロンドン	東京国際空港	到着後、作業者の携帯端末が貨物室で発見された。	
8/15	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA220J	福岡空港	大阪国際空港	上昇中、第1エンジンの抽気システムに不具合があったことを示す計器表示があった。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
8/15	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA134A	東京国際空港	大阪国際空港	乗員間の周回進入に関する認識が不十分であったことから、対地接近警報が作動した。	
8/15	全日本空輸					担当者の誤った認識により、所定の復帰訓練・審査の一部を未了のまま、客室乗務を再開させた。	
8/15	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA883A	シンガポール	東京国際空港	整備委託先において、運用許容基準の適用にあたり誤った処置をしていたことが判明した。	
8/15	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA808A	東京国際空港	北京	飛行中、機体が動揺した際、乗客2名及び客室乗務員1名が負傷した。	航空事故
8/15	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA12RK	久米島空港	那覇空港	上昇中、航法用の計器画面が一時的に非表示となった。	
8/16	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA841A	女満別空港	新千歳空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
8/16	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA06RJ	成田国際空港	広島空港	飛行中、副操縦士側(右側)前方の操縦室窓にひび割れが発生した。	
8/16	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-216型	JA01DJ	中部国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/16	エアー・ジャパン	ボーイング式787-8型	JA831A	青島	成田国際空港	到着後、作業者の無線機が貨物室で発見された。	
8/16	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA07MC	福岡空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/16	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA806P	関西国際空港	那覇空港	到着後の点検にて、鳥衝突による第2エンジンのファンブレードの損傷を発見した。	
8/16	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA01GR	成田国際空港	新千歳空港	進入中、必要なスイッチ操作を失念したことから、対地接近装置が作動した。	
8/19	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA21MC	東京国際空港	北九州空港	社内調査の結果、脚に発生した不具合に対して異なる技術基準で作業していたことが判明した。	
8/19	新中央航空	ルアグ式Dornier228-212型	JA37CA	調布飛行場	大島空港	離陸時、脚が正常に上がらないことが判明したため引き返した。	イレギュラー運航
8/19	朝日航洋	川崎BK117C-2型	JA117R	群馬県前橋市場外	群馬県中之条市内場外	ホバリングをして移動中、ラダーペダルに引っかかりがあった。	
8/20	ANAウイングス	ボーイング式737-700型	JA05AN	中部国際空港	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/20	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA11RJ	仙台空港	福岡空港	到着後、操縦席横の隙間から、整備士が使用する連絡用携帯電話が発見された。	
8/21	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA15AN			運航整備中、航空機用救命無線機に不具合があったことを示すライトが点灯した。	
8/21	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737U	東京国際空港	那覇空港	進入中、管制通話の確認に不足があったことから、指示高度を逸脱した。	
8/21	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA827A	成田国際空港	新千歳空港	飛行中、補助動力装置の煙探知機に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/22	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA216A	成田国際空港	杭州(中国)	降下中、管制指示高度を誤認したことから、管制指示高度を超過した。	
8/22	日本航空	ボーイング式787-8型	JA835J	成田国際空港	大連	飛行中、機長席側(左側)前方の操縦室窓にひび割れが発生したため引き返した。	イレギュラー運航
8/23	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA462A	新潟空港	新千歳空港	離陸時、左主脚の扉が閉まっていないことが判明した。	
8/23	エアー・ジャパン	ボーイング式787-9型	JA836A	成田国際空港	バンコク	飛行中、左側の空調系統に不具合があったことを示す計器表示があった。	イレギュラー運航
8/23	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA03GR	重慶	成田国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
8/23	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA886A	上海(浦東)	成田国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/23	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA02JC	奄美空港	喜界空港	地上担当者で貨物個数を誤入力したことから、誤った重量・重心位置データで運航したことが判明した。	
8/23	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA741J	シカゴ	成田国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/23	日本航空	ボーイング式787-9型	JA866J	ダラス	成田国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/24	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA26MC	那覇空港	北九州空港	出発前に飛行管理装置へ誤った入力を行ったことから、上昇中、管制指示経路を逸脱した。	
8/24	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA811X	東京国際空港	熊本空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/25	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ	成田国際空港	上海(浦東)	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/25	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA82RC	石垣空港	宮古空港	出発前の点検において、携帯用酸素ボトルの圧力が低下していることが発見された。	
8/26	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA601A	東京国際空港	旭川空港	地上運航担当者と運航乗務員の認識が異なったため、誤った重量・重心位置データで運航したことが判明した。	
8/26	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73ND	新千歳空港	東京国際空港	離陸滑走中、機長側の高度計及び速度計に不具合が発生したことから、離陸を中止した。	
8/26	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737U	東京国際空港	新千歳空港	スケジュール変更に関わる勤務時間調整を行わなかったため、12時間の休養時間を充足しないまま乗務したことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
8/26	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA26MC	北九州空港	東京国際空港	離陸時、客室内の照明カバーの一部が落下した。	
8/26	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA753A			定時整備中、胴体下部の外皮に腐食が発見された。	
8/26	日本航空	ボーイング式787-8型	JA837J	東京国際空港	ロンドン	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯していることを発見した。	
8/27	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA66AN	新千歳空港	大阪国際空港	飛行中、指示高度を誤認したことから、管制指示高度を逸脱した。	
8/27	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA03AN			装備品整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
8/27	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA06RK	那覇空港	宮古空港	飛行中、航法用の計器画面が一時的に非表示となった。	
8/28	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA247J	大阪国際空港	長崎空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/28	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA26MC	台北(桃園)	北九州空港	飛行中、化粧室内のゴミ箱用扉が外れた。	
8/28	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA823P	長崎空港	関西国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/28	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ	シカゴ	フランクフルト	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/28	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8975	東京国際空港	女満別空港	降下中、飛行管理装置へ誤った入力を行ったことから、管制指示経路を逸脱した。	
8/28	日本航空	ボーイング式787-8型	JA831J	成田国際空港	バンコク	上昇中、機体前方の客室扉から異音が生じたため引き返した。	イレギュラー運航
8/29	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA606A	秋田空港	東京国際空港	進入中、乗務員の失念により管制指示高度を逸脱した。	
8/29	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA778A	成田国際空港	サンフランシスコ	進入中、自動操縦装置の設定を誤ったことから、管制指示高度を超過した。	
8/30	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA01HD	旭川空港	東京国際空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
8/30	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA05AN	中部国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/30	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA01RK	那覇空港	中部国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/31	エアージャパン	ボーイング式767-300F型	JA601F	上海(浦東)	成田国際空港	到着後、作業者の携帯端末が貨物室で発見された。	
8/31	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737N	新千歳空港	東京国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
8/31	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	シカゴ	フランクフルト	運航整備中、前脚格納時のタイヤの回転止めの一つが欠損しているのを発見した。	
9/1	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-216型	JA01DJ	中部国際空港	台北(桃園)	降下中、脚下げ操作を行ったところ脚が展開しないことが判明した。	
9/1	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA06FJ	名古屋飛行場	新潟空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
9/2	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA601A	東京国際空港	新千歳空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
9/2	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA10RJ	福岡空港	大阪国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/2	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NR			社内調査の結果、整備作業で製造者の指定する溶剤を使用せずに作業を完了していたことが判明した。	
9/2	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA618A	東京国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/2	琉球エア・コミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA84RC			運航整備中、前脚のロック機構に必要な部品が製造時より取付けられていないことが判明した。	
9/3	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA223J	山形空港	大阪国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/3	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA704A	大阪国際空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/4	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Y			定時整備中、機長用の防煙眼鏡に不具合が発見された。	
9/4	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA08FJ	名古屋飛行場	青森空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/4	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA609A	東京国際空港	庄内空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
9/4	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA836A	ミュンヘン	東京国際空港	整備委託先において、補助動力装置の給油手順に不足があったことが判明した。	
9/4	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA82AN	新千歳空港	富山空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
9/4	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA815P	ソウル(仁川)	関西国際空港	飛行中、急激な大気擾乱により一時的に管制指示高度を逸脱した。	
9/5	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NJ	東京国際空港	鹿児島空港	降下中、右側の抽気系統の漏えいを示すライトが点灯した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
9/5	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA05GR	寧波	成田国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
9/6	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA24MC	関西国際空港	東京国際空港	運航整備中、非常用脱出報知器の警報が不動作であることを発見した。	
9/6	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA827P	関西国際空港	ソウル(仁川)	離陸時、脚が正常に上がらないことが判明したため引き返した。	イレギュラー運航
9/6	日本航空	ボーイング式737-800型	JA308J	東京国際空港	高松空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/7	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA56AN	東京国際空港	鹿児島空港	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
9/7	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA52AN	東京国際空港	那覇空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
9/7	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA52AN	福岡空港	宮古空港	運航便の遅延に関わる勤務時間調整を行わなかったため、勤務時間制限を超過したことが判明した。	
9/7	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA218J	大阪国際空港	松山空港	離陸時、両エンジンの排気ガス温度が運用限界を超過した。	
9/7	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	東京国際空港	那覇空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
9/7	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ	上海(浦東)	成田国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/8	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA249J	仙台空港	福岡空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/8	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA	神戸空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/8	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA03GR	天津	成田国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/8	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA141A	秋田空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/8	日本航空	ボーイング式767-300ER型	JA657J	東京国際空港	小松飛行場	進入中、計器の確認不足から脚下げ時における運用限界速度を超過した。	
9/8	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8986	旭川空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/8	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA81RC	那覇空港	久米島空港	着陸時、第2エンジンの火災検知器に不具合があったことを示すライトが点灯した。	
9/8	日本航空	ボーイング式787-8型	JA841J	サンディエゴ	成田国際空港	乗務前のアルコール検査において、客室乗務員からアルコールが検知された。	
9/9	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA23MC	中部国際空港	台北(桃園)	社内調査の結果、パネルの取り付けスクリューに製造者が認めていないものが取付けられていたことが判明した。	
9/9	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA75AN	東京国際空港	広島空港	上昇中、左右の燃料タンクの燃料量の差に関する運用限界を超過した。	
9/9	日本航空	ボーイング式737-800型	JA330J	東京国際空港	徳島飛行場	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/9	日本航空	ボーイング式777-200型	JA8984	大阪国際空港	東京国際空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
9/9	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA803P	ソウル(仁川)	関西国際空港	運航乗務員が乗務後のアルコール検査を実施していないことが判明した。	
9/10	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA305K	成田国際空港	福岡空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
9/10	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA02GR	天津	成田国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
9/10	日本航空	ボーイング式787-8型	JA841J	成田国際空港	仙台空港	地上担当者の連絡不足により、必要な給水が行われずそのまま運航した。	
9/10	日本航空	ボーイング式777-200型	JA705J	シンガポール	東京国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
9/10	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA827P	関西国際空港	新潟空港	運航乗務員が運航間のアルコール検査を実施せずに運航したことが判明した。	
9/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NX	東京国際空港	東京国際空港	試験飛行中、高揚力装置(フラップ)の代替展開を行ったところ途中で停止した。	
9/11	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA828P	成田国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
9/11	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA137A	秋田空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/11	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-211型	JA8997	東京国際空港	鳥取空港	進入中、高度処理のため脚下げを行い、その後脚上げ操作を行ったところ脚の運用限界速度を超過した。	
9/11	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8980	東京国際空港	旭川空港	上昇中、機長側の速度検知器に不具合があったことを示す計器表示があったため引き返した。	イレギュラー運航
9/12	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA07FJ	山形空港	名古屋飛行場	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/12	日本航空	ボーイング式787-8型	JA844J	成田国際空港	中部国際空港	飛行勤務開始時のアルコール検査を行ったところ、運航乗務員からアルコールが検知された。	
9/13	日本航空	ボーイング式777-200ER型	JA705J	シンガポール	東京国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
9/14	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA06RJ	成田国際空港	仙台空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
9/14	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA818P	新千歳空港	関西国際空港	社内調査の結果、修理持越し後の繰り返し点検期限が超過したことが判明した。	
9/14	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA704A	中部国際空港	中部国際空港	社内調査の結果、右主脚に製造者が認めていないタイヤが取付けられていることが判明した。	
9/14	日本航空	ボーイング式737-800型	JA318J	青森空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/16	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AA	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/16	日本航空	ボーイング式737-800型	JA311J	グアム	グアム	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/17	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA709A	神戸空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/17	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA732J	東京国際空港	ニューヨーク	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/17	日本航空	ボーイング式787-9型	JA862J	成田国際空港	シドニー	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
9/18	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73ND	東京国際空港	新千歳空港	運航整備中、胴体抽気系統の漏えい検知機に不具合があった。	
9/18	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	神戸空港	那覇空港	上昇中、第1エンジンの出力が低下し、不具合があったことを示すライトが点灯したため引き返した。	イレギュラー運航
9/18	日本航空	ボーイング式787-9型	JA865J	ボストン	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
9/18	北海道エアシステム	サブ式SAAB340B型	JA02HC	函館空港	札幌飛行場	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/19	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA58AN	東京国際空港	佐賀空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/19	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737U	東京国際空港	神戸空港	運航整備中、主脚格納室の火災検知機に不具合があった。	
9/19	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA751A	那覇空港	東京国際空港	離陸後、擾乱との遭遇により自動操縦装置の操作が遅れたため管制指示高度を超過した。	
9/19	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ	アムステルダム	ミラノ	地上担当者の確認不足により、乗員へ通知せず危険物を輸送したことが判明した。	
9/19	日本航空	エアバス式A350-941型	JA02XJ			社内調査の結果、定時点検の実施期限を超過していたことが判明した。	
9/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737N	神戸空港	百里飛行場	地上走行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
9/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NL	福岡空港	那覇空港	地上走行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
9/20	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA02GR	成田国際空港	重慶	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があったため引き返した。	イレギュラー運航
9/20	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA605A	福岡空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/20	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA05RK	那覇空港	新石垣空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
9/20	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA12RK	中部国際空港	那覇空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
9/20	日本航空	ボーイング式777-200ER型	JA709J	東京国際空港	ソウル(金浦)	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/20	日本航空	ボーイング式767-300ER型	JA658J	旭川空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/21	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA64AN	東京国際空港	高松空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
9/21	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA824A	東京国際空港	松山空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/21	日本航空	ボーイング式737-800型	JA308J	東京国際空港	鹿児島空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
9/23	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA612A	帯広空港	東京国際空港	地上担当者の確認不足により、危険物を輸送する際、個数を誤って申告し輸送したことが判明した。	
9/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73ND	那覇空港	東京国際空港	運航整備中、胴体抽気系統の漏えい検知機に不具合があった。	
9/23	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA20MC	中部国際空港	北九州空港	飛行勤務前のアルコール検査結果の記録を失念したまま運航したことが判明した。	
9/23	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA04GR	寧波	成田国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
9/23	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA139A	東京国際空港	鳥取空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
9/23	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA752A	新千歳空港	東京国際空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
9/23	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA132A	東京国際空港	秋田空港	急激な大気の影響による復行中、一時的に管制指示高度を逸脱した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
9/24	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA226J			客室内に装備される救急箱の内容物の一部に有効期限が超過したものがあったことが判明した。	
9/24	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA705A	東京国際空港	新千歳空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/24	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA03AN			定時整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
9/25	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA818P	香港	関西国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
9/25	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA52AN	佐賀空港	東京国際空港	進入中、自動操縦装置の設定を失念したことから、対地接近装置が作動した。	
9/26	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA74AN	福岡空港	那覇空港	到着後、主脚のタイヤが部分的に剥がれていることが発見された。	
9/27	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA859A	松山空港	大阪国際空港	着陸後、管制の許可を得ずに滑走路を横断した。	
9/27	ジェットスター・ジャパン			関西国際空港	成田国際空港	飛行勤務開始時のアルコール検査を行ったところ、運航乗務員からアルコールが検知された。	
9/27	ジェットスター・ジャパン			関西国際空港	新千歳空港	飛行勤務開始時のアルコール検査を行ったところ、運航乗務員からアルコールが検知された。	
9/27	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA811A	東京国際空港	岡山空港	離陸時、脚が正常に上がらないことが判明した。	
9/27	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA873A	ウィーン	東京国際空港	飛行中、第1エンジンの滑油量が低下したことを示す計器表示があったため、目的地を変更した。	イレギュラー運航
9/28	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA02GR	ハルビン	成田国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
9/28	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA711A	大阪国際空港	東京国際空港	乗務前のアルコール検査において、客室乗務員からアルコールが検知された。	
9/29	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA10JJ	成田国際空港	庄内空港	社内調査の結果、整備士が客室内の酸素ボトルを交換した際、誤った部位のボトルを交換していたことが判明した。	
9/29	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA736J	ロンドン	東京国際空港	到着後、荷主の携帯端末が貨物コンテナ内で発見された。	
9/30	朝日航洋	シコルスキー式S-76D型	JA6961	静岡県裾野市場外	愛知県豊田市場外	飛行中、第2エンジンの滑油圧力が低下したことを示す計器表示があったため目的地を変更した。	イレギュラー運航